

十千十二支

國是... 陋所性味

公

音

教

種

稿

國... 稿

矢里... 宛元

〇

いろはにほへこ
 ちりぬるをわか
 よたれろつぬな
 らむらねのたぐ
 やまけふこ江て
 あさきゆめみし
 忍びもせず京

心持をふり合ふ
 ちりぬるをわか
 白鳥もあはれ
 紅梅もあはれ
 白梅もあはれ
 何ぞもあはれ
 忍びもあはれ

イロハニホヘト
 キリヌルヲワカ
 ヨメレソツオナ
 ラムウ井ノカク
 ヤマケフコエテ
 アサキユメミシ
 五ヒモセヌ

甲乙丙丁戊
 己庚辛壬癸
 十二支
 子丑寅卯
 辰巳午未
 申酉戌亥

右頭字

大政市新寛順長久孫彦
 志清淳甚又亦平和伊仁
 勘宦志彌昇正吉徳篤外
 増藤武玄半要用善查宗
 惣角覺作策恭金銀安利
 助紋佐左喜并文小多茂

儀 磯 仙 指 伴 丈 際 友 典
 与 鷹 鷲 龜 松 竹 席 寅 牛
 馬 熊 菊 梅 蕙 種 胤 百 千
 万 萬 良 儂 與 北 廣 岩 鎰
 嘉 富 苗 音 乙 祭 孝 幸 常
 丹 定 變 雅 核 倉 藏 鉄 勇

祐 由 芳 代 戈 高 季 濱 洋
 沢 妻 袖 軍 郡 貞 勝 庶 長
 林 氏 皇 恒 岩 常 君 初 逸
 尊 筆 暈 困 玉 玉 介 榮 英
 永 元 專 官 迎 仁 秋 相 谷
 龍 鑿 録 石 重 歌 花 集 邑

淺沙麻光岸源泚仲泚
浪波雙房峯峯慶啓桂
高宮隆若若集守重相
深系道春夏秋冬織折
福稻米秀初只唯為品
健順信延岡捨棄直虫

猶在雛時周堂後彈力
造酒幾矣堰縣令大卷
少卷幸由幸大屬權大屬
大郎次郎三郎左衛門右衛
門之魚殿殿殿殿樣樣樣

綱畢早洗

村名

石塚小見吉水新去多穀生
 高良湯田之入石本多田山越
 中村葛生所小曾戸豊代仙波
 秋山多之木栢多永野牧村心五
 野野上大原户作原色海白岩

去吉場山神乐新越若場戸室
 和田小畑田沼宿戸高良山形物菟
 采馬龜釣根中上押山相生境廻
 小保美茶森板倉大茶上小松田栗
 谷五才初兮禍只明仮宿是利
 江川黄田利保助戸塔寄月峯
 行道山登

石草寺久保出流原上の山田中
 西根本白河止後止源戸大境赤
 見大門蓮泥釣場丹瓦道場
 市津市崎止崎福岳西場只木
 迎河大窪能木八相山川劫
 岩井常見猿田小生川梁田川崎

寺園若木小中村上久寺羽田
 高橋五戸早川日本戸鼓林大町
 呈次正様内若尾稻高杉野植
 野大小瓦形津川馬門越若高種
 唐申堀鉦堀西浦浅沼菊岡
 久保所小屋所作野堀末大伏

富士 壱川 大塚 古井 小野 止 岡
新皇 聖國 為 永 止 誓 集 松 山 田
太平 止 皆 川 富 田 岩 教 村 根 本
川 蓮 初 木 合 戦 場 全 崎 急 原
梯 本 庶 匠 文 校 板 橋 今 市 跡
石 日 光 山 曾 體 山 禪 頂 住 永 年

○日本 國 則 不 倣 不 文 帝

哉 内 五ヶ 國

秋 漢 洲 の 世 曲 多 あり 六 代 の 吾 花 の
初 結 平 一 かな 又 少 一 一 不 富 葉 永
先 多 義 用 一 一 古 國 止 止 城 古 和 和 義
路 不 河 内 梧 津 法 國 一 一 和 和 義 一 一
吾 妻 古 一 一 法 法 一 一 法 法 一 一 東 法 法

三石多り 伊頼 伴知 六磨 好く 居張
 登河 三石 遠江 駿河 伊豆 甲斐
 羽 撰川 うち 秋 行 玉 水 堂 軒
 とう 出 家 入 月 の 初 と 石 高 山
 比 子 不 要 出 房 と 結 不 能 常 法
 油 瓶 多 者 唐 出 出 東 山 各 各

暮 公 事 時 正 江 江 儀 美 濃
 毒 罨 の 延 信 濃 毒 少 各 各
 錦 二 身 結 毒 三 曲 毒 多 各 各
 飛 の と 野 不 野 不 隆 真 の 能 信 思 公
 以 何 隆 何 隆 北 國 也 萬 の 毒 公
 保 夕 法 三 一 毒 各 各 氣 公 各 各

越前加賀也 能登越中 越後
 佐前と藤内心 播磨と美濃
 北陸道と 存心と 教野と 越前
 遠くとも 舟も 是れ 大江止陰
 一國と 古法 丹波丹后 境あり
 鬼ヶ原と 敷島と 但馬の國

年々 同情 石州と 播磨と
 伯耆と 伊予と 石見 隠岐 山陰
 山陽道と 播磨と
 淡路と 美作と 備前 備中
 備後 備前 備中 備後
 備前 備中 備後
 備前 備中 備後
 備前 備中 備後

阿波讚岐伊豫土佐四國
云傳子西沙子之筑紫之筑前
筑後之豊前豊後肥前
肥後日向久留薩摩海峽浪
下心之先之吉波能杉
國對馬根法之勤之代

之等國名後之

日本國名帖

五畿内五ヶ國

七十一ヶ國外二島

山城大和河内和泉攝津

東海道十五ヶ國

伊賀伊勢志摩尾張三河

遠江駿河甲斐伊豆相摸
武藏安房上総下総常陸
東山道十三ヶ国

近江美濃飛騨信濃上野
下野陸奥陸前陸中岩城
岩代羽前羽後

北陸道七ヶ国

若狹越前加賀能登越中
越后佐渡

山陰道八ヶ国

丹波丹後但馬因幡伯耆
出雲石見隱岐

山陽道 八ヶ国

播磨美作備前備中備后

安藝周防長門

南海道 六ヶ国

紀伊淡路阿波讃岐伊豫

土佐

西海道 九ヶ国

筑前筑後豊前豊後肥前

肥後日向大隅薩摩二島

壹岐對馬

北海道 十一ヶ国

渡島後志石狩天塩北見

騰振日高ト十騰カテ釧路クシ根室
千島

隨所往來

凡⁶當國產物有博多日先人卷
連美本具濶物引田の麻志國五好物
本公為止之申紙煙子呈利ふ念ひ
端西南初相河楊亦當位望望物
產下材木產志本薪石竹薪穀獲

糟子粉 粳米 古米 新米 大麦 小麦 大小 巨
 為 黍 粟 黍 稷 胡 麻 荳 蔻 芥 菘 菘 菘
 芥 牛 房 大 根 大 考 茄子 茄子 茄子 芥 芥
 荷 菊 芥 子 木 好 角 子 子 薩 芥 芥 芥
 移 活 生 菜 子 子 芥 芥 芥 芥 芥 芥 芥
 山 葵 蓮 根 蕪 根 芥 芥 芥 芥 芥 芥 芥
 酒 酢 醬 油 糖 油 糖 油 糖 油 糖 油 糖 油

且 亦 農 家 之 平 常 之 用 具 之 鐵 錘
 山 刀 鋸 斧 鉞 研 石 鉗 子 鋸 板 手 桶 柄 抄
 具 新 茶 碗 新 瓶 新 蓋 新 臺 新 燈 檯
 燈 錫 套 套 子 款 備 又 農 家 之 種 大 雜 律
 豆 巾 妙 姑 級 織 浮 織 五 物 織 弱 掛 席
 西 掛 阿 波 姑 子 阿 波 混 占 上 深 色 天
 絨 細 戶 在 色 淺 黃 沙 絲 大 卷 台 卷 台 微 卷

三節金魚一鉄毛北茶万茶襷茶結糸入
唐棧急良棧西川結獲初之細粒
大粒子味嚼粒二重粒一為二為子持
急布慶山子刷之急之方節之粉之
紫登河蘇在節尖金茶沙茶氣粒
急山物色合集急之暇所之尤之友
急式丈二大寺皇法之橋目之粒係急

原寸自至且職之得手之珠物号
公米望標和急之昔年製者之唐
急流來後急系之用標和急之
急之上急の子急之但急之急百有
急粒入急之百入急之尤之粒入急之處
急急之百友急急之准者急急之時候
急急織物急急之風急急之東西南北急急之是急

神文様七反位より五折ぬき金三
式抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方

皇太神則作之祀神多る言中
奉り名典居業の志得新転此下志

拓應齋但思玉書抄年 知是菴

湯乃及細子

唐奈抄得抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方
抄より抄の義より八抄の少の意尤仁入方

之同より某は是の如し

夫人より西直中一かしと天造とありて
 任初と書しつゝかゝりて御しつゝ六友
 至に身事と書しつゝ仲より父事と書しつゝ
 草紙と書しつゝ里雲の残る氣と書しつゝ清書
 友吉よりと書しつゝ都と書しつゝ年用と書しつゝ札に
 かゝりて書しつゝ呼と書しつゝと書しつゝと書しつゝ
 越と書しつゝと書しつゝ粘と書しつゝ粘と書しつゝと書しつゝ
 越と書しつゝと書しつゝ粘と書しつゝ粘と書しつゝと書しつゝ

正月より正月の初と書しつゝ本と書しつゝの指と書しつゝ
 門と書しつゝ示代と書しつゝの松飾と書しつゝ内と書しつゝと書しつゝ
 事と書しつゝと書しつゝ

二月より物と書しつゝ維と書しつゝと書しつゝの書と書しつゝ
 小と書しつゝと書しつゝと書しつゝと書しつゝと書しつゝ
 小と書しつゝと書しつゝと書しつゝと書しつゝと書しつゝ

三月、雛の節、中、祇の花、四方、
梅、名、梅、心、山、小、娘、の、福、を、と、具、人、
修、心、の、事、を、

四月、卯の急、喉、好、を、峰、止、と、年、
郭公、目、骨、多、く、し、あ、ま、し、く、し、

五月、葛、葉、の、ま、り、初、感、子、自、あ、り、

晴、ら、く、時、の、心、如、く、滑、り、

六月、天、主、を、う、富、生、神、と、身、を、

思、妙、の、縁、心、清、く、社、本、の、人、の、徳、心、

若、き、子、

七月、二、星、の、誓、心、天、妙、川、七、夕、を、

二、夜、の、事、を、干、葉、會、會、の、事、何、事、

甚好方多に也

八月十三五夜中新月の色殊なき
此は軒漏る影をたのしむる詩歌
及て形も多し

九月と重湯の程の程の影を
諸般に
花若大輪の葉を作り互に考へ

是中を隔る厚の影は是れは白の
仁事あり

十月と多神月の影あり

影を移さる二十日を家へ移す

重かゝる目と夜をも山雨の神の

影あり

二月と云有三月と云は後公有男子
女子の袴の着や髪並帯ありて
うらまへ酒上肴の程ありて友の袴
重なる事

十二月、極有三月と云は
知りし床の事著は異
理仁候著

如多度や七五三飾り目出度
待の事著

都路往來

都路と五千路の間にふたりの宿時得
 三味や江戸の波紋なる川を
 形と越する河津の朝信若く
 神奈川と早程谷津のほとりまで
 戸塚の舎をくぐり紫白と森澤に
 野も洲も清く平塚と元の老の大磯

晴時ある小田原の宮根を越して
 新海と急の里に神宿り宿り
 浪津の土と新まきしと原の露と
 富士の根道よ吉原に共の宿
 らん蒲原や体の中村の君も
 と思ひ神津の焼畑の清き江尻の

朝けりきやうへに 駿河の府中へり書
 の教をきき 魁子とて 渡り島郡の巻を
 道二平の和の 藤枝より 鴨田の
 大井川 渡りきよひと 金谷にて 照を
 岩より日板の 旗の里の 掛河に 橋を
 袋井の 沼の 登る 是附の 八幡とて

渡船の 枝の 年久し 河内 舟の 舟板を
 遠道より 鹿井の 磯神の 浪越 血原
 解し元より 名のとて 双川 下浦 以 風を
 吉田に せき 思ひ 舟を 以 津の 里
 解り 舟の 赤板に 野田の 舟 増を
 藤河を 同流の 舟の 舟を 舟 結ふ

池籬新の伍の復に功を混るの以海
 深只は度所不替田の社に氏派を
 柔石の海老のり新と四り市替ひ
 味より甘味師片野一舎く是北よりよ
 難ひ久くよ復心と道る人あよ
 関ありし残の家をよ坂の不唯心
 ミ世と志人福をたる病もあよ
 湯くぬ朱の万部奉北をよと楊りぬ
 多味よりや海をるも書らぬ大津に
 社に銀の九重ふん流りぬ初業
 君の書よいよひやんり

旧御大石苗字 大味小次郎木月

新田足利 徳川松平 前田嶋津

伊達黒田浅野細川毛利 鑑島池田

山内藤堂井伊有馬 蜂須賀南

部津經佐竹上 枚真田奥平酒

井小笠原柳原本田 堀田溝口巨田

阿部大久保 青山牧野 中川石川

井上加藤木下内藤 青木一柳

市橋六郎 杉浦安藤 安部秋元

脇坂宗片 相谷關森 諏訪

大田原大関 亀井建部 大野

九鬼大岡 杉本 秋月 織田水野

植村内田岡柳生稻恒米津

丹羽柳澤岩城遠山伴藤福葉

立花保科山口土井林冬田朽木

秋月土屋間部五島森川久留島

久世京極板倉相馬土方戸澤

仙石新庄西尾永井小土島居

増山土岐遠藤三宅秋田田沼

平岡藤田北條



片倉吉川福田相問長村井奥

村水戸中山竹之腰福原諫早武田

後藤大星

金森松倉寺澤水谷浅野

苗字是

正田岡田岩下荻沼杉本遠藤五月山太田
和田岩上石井大貫根岸内田相田山口
龜田土金島田丸山川島須藤塩田林
桑口久保毛塚涌井白石山并石澤長
葛貫佐瀬真澤片山片柳村山松村田口
寺内金子原田有藤長竹大竹佐羽木村
下田津布久所田坂原田村田代野田新田

江戸樂舎用

柳崎川田高瀬大澤廣瀬尾花押山庄所
山田中田半田川号小着近藤進藤小林
田津三枝日下郊三葵茂本志坂長谷川松田
津久井小林天海永嶋荒川兵藤增田森
大川小川黒川市川真不越石塚越大越
后室字井落合若田新川島田石綱飯田深
福地福田福山福岡小倉倉持武澤金井田

正風多し吹く夏心あり正南風吹くあり
正卯の風吹く其年大風あり

夏北風吹くあり夏正卯の風吹く
秋の當りあり

秋正卯の風吹く其年とありとあり

冬南風吹く言ふ白雲降り正卯の風吹く寒

強し農家の命を奪ふ秋分を正の氣候を

天の命

江戸樂舎用